

キーワード | 支えあい体制づくり、地域支えあいマップ、地域力

## 地域支えあいマップづくりをきっかけとした地域力の向上

鹿児島県 大和村

### 【この事例の特徴】

地域支えあいマップづくりをきっかけに、住民主体の活動が次々と展開されて、住民同士の支え合いや居場所・生きがいの創出、地域力の向上につながっている。

### 地域概要

総人口:	1,643 人
65 歳以上人口:	607 人(36.9%)
75 歳以上人口:	377 人(22.9%)
要介護要支援認定者数:	137 人(22.6%)
地域包括支援センター数:	1 ヲ所
第 5 期介護保険料:	4,800 円



### 背景・経緯

#### 【背景・経緯】

- 小さい村で人口減少も進み、また離島へき地という特性もあるため、住民や関係者の間に、「専門職もない、社会資源もない、何もないので何もできない」というあきらめの雰囲気が見られた。しかし、村としては、「本当に何もないのだろうか、気づいていないだけではないか、資源を生かしてきれていないだけではないか」という疑問を感じていた。
- 各関係機関が様々な取り組みを行っているが、村としての理念がはっきりせず、取り組みがバラバラに存在していた。そのため、村としてどの方向に向かっていくべきか理念をしっかりと共有する必要があると考えられた。
- リーダー育成や教室開催等いろいろな事業を実践しているが、いつも問題を抱える人は同じであり、届きたい人に届かないなど、効果に疑問を感じる中で、方法が間違っているのではないかと感じるがあった。
- 以上のような問題意識のもと、マップづくりという手法を用いて、地域の現状や今後の方向性を地域住民同士で共有する事業を地域包括支援センターが発案し、住民を巻き込んで住民主体の取り組みとして開始した。

#### 【予算等】

- 地域支えあい体制づくり事業  
平成 23 年度 4,762,000 円(住民活動立ち上げ支援分)  
平成 24 年度 1,663,000 円(住民活動立ち上げ支援分)

## 取り組み内容と方法

### 【目的】

- 住民同士のつながりづくり
- 住民の役割・居場所・生きがいつくり
- 住民の生活を支え合う(互助)
- 住民の意識の向上(自助・互助を守り強める)

### 【概要】

- 主に高齢独居者、障害者、中高年男性独居者等気になる人を中心に、そのご近所で誰がどのような関わりをしているかをマップに示しながら、地域資源や課題(どのような困りごとがあるか、地域に何が必要か等)を抽出・認識を共有し、その解決策を見出していく。
- マップづくり参加者やそれに共感したご近所が中心となり、「こんな地域のニーズがあり、こんなことができる人がいるからこれをやってみよう」等の気持ちから活動開始。気づきやつながりが少しずつ広がり活動が発展している。
- マップづくり後に始まった住民による活動の内容(例)
  - ◇ 畑づくりの支援(耕耘、声かけ、販売支援など)
  - ◇ 農産物の生産・販売・加工、手芸品製作販売
  - ◇ 高齢者が作った野菜を材料におかずを販売、還元
  - ◇ 庭の手入れ、草木の剪定、散髪、耕運、買い物代行等の日常のちょっとした困りごと支援
  - ◇ 喫茶店風の憩いの場やミニサロン運営による居場所づくり、情報発信、安否確認等  
 ※30-40代の参加・協力を得ながら展開している(巻き込んでいる)集落もある。  
 ※住民や集落のニーズに合わせて拡大・発展している集落がみられる
- 活動グループ立ち上げ数  
 平成23年度:4グループ、平成24年度:1グループ、平成25年度:4グループ

### 住民が主体となった活動による地域づくり



## 【市町村としての関わり】

- マップづくりという皆が一緒に考える機会を提供
- 初年度立ち上げ経費補助(補助事業を積極的に活用)
- 継続的に状況を把握し、見守り、必要に応じて介入する
- 住民、関係者等へ活動のすばらしさを伝える(集まりの場や広報など)
- 活動に対する反応・効果をフィードバックし、目的を共有できるようにする
- 活動者同士が情報交換、連携、相談できるための場の提供(交流会開催支援)

## 取り組みの成果と課題

### 【成果と課題】

- マップづくりをきっかけにして、住民主体の活動が展開され、その結果、元気を取り戻したり、生きがい  
が生まれるといった効果が出ている。
- 活動については、住民がそれぞれ自分たちにあった形で工夫をこらしている。しかし、ご近所活動で  
あるため、ご近所ならではの相性や派閥等が浮き彫りになってくることもある。しかし、問題がある時  
にはその都度どうしていけばよいか話し合いながら住民とともに進めている。
- また、場所であったり作業内容であったりと、目に見える形にとらわれてしまいがちであるが、こうい  
った活動によって何が生まれているのか、どういう効果につながっているのかを、いかに見つけ自覚し  
ているかが重要である。

## 参考 URL、連絡先

- 大和村 保健福祉課・地域包括支援センター  
<https://www.vill.yamato.lg.jp/yamato01/yamato25.asp>  
0997-57-2218